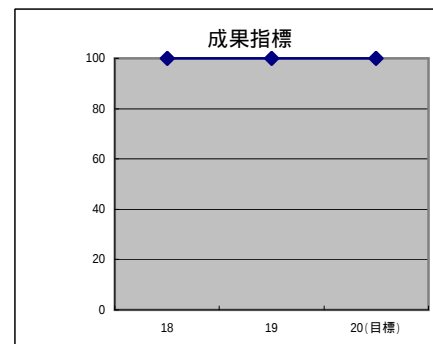
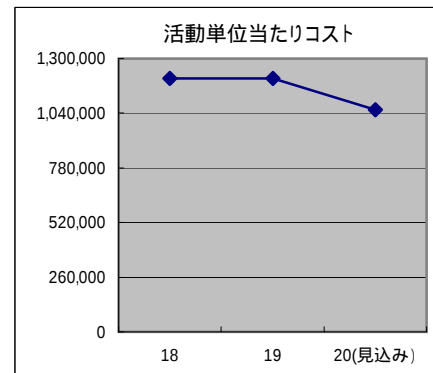


事務事業名		姉妹校交流事業		予算科目	会計	1	一般会計
					款	10	教育費
					項	2	小学校費
					目	2	教育振興費
					事業	11	小学校教育助成事業
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち				
	施策(節)	2	学校教育				
	施策の方向	(2)	教育環境の整備・充実				
関連する計画等				作成部署	教育委員会事務局学校教育室学校教育課		
				連絡先	072 - 958 - 1111 内線		
事業の目的	対象(誰を・何を)						
	対象学校教職員及び児童、保護者						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
	体験活動の充実を図る。						
事業の内容	白鳥小学校と島根県赤城市立赤江小学校との交流事業に補助金を交付する。						
根拠法令等							
事業開始時期		☒ 昭和 ☐ 平成 48 年 月開始 ☐ 明確にはわからない			終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化							
市民や議会の要望							
実施手法		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 外郭団体委託	名称	委託内容			
		☐ 民間委託					

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		1,150	1,150	850
人件費【2】 (千円)		1,260	1,260	1,260
職員数	正規職員	0.15 人	0.15 人	0.15 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		2,410	2,410	2,110
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	2,410	2,410	2,110
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
年間交流回数 回		2	2	2
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		1,205,000 円	1,205,000 円	1,055,000 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		20 円	20 円	18 円



成果指標	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	交流援助率(%)	(式)	交流に係る援助を行った割合	目標	100	100	達成率(%)
				実績	100	100	100.0%
	(式)			目標			達成率(%)
				実績			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	児童交流により郷土理解が深まる。
								○			

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い	☐	☐	☐	姉妹校交流により、両校の児童がそれぞれの郷土への理解を深めることができる。	
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐		
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐		
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐		
	国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐		
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐		
	緊急性が認められる	☒	☐	☐		
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☐	☐	☒		
	受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒		
	人員を削減する余地がない	☐	☐	☒		
	事業費を削減する余地がない	☐	☐	☒		
	簡略化できる方法や手段がない	☐	☐	☒		
	市の他事業と重複していない	☐	☐	☒		
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☐	☐	☒		
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	児童間に交流への期待が高まり、郷土学習への取組みが熱心に進められた。	
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐		
	成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐		
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐		
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	交流事業はPTA等の保護者の協力が得られており、保護者の間でも好評である。	
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐		
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐		
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐		
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	事業の目的に添って適正に事業が進められている。	
	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐		
	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐		

担当 部局 評価	総合評価
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	児童交流については、児童や保護者が大きな期待をもっている事業である。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
	今後も、地域やPTAの協力を得ながら、事業を進めていく。